

2025年度

日本史  
(問題)

〈R07193316〉

## 注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2~14ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてH Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input checked="" type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄(2カ所)に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数	字	見	本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

1 古代の刀剣に関する次の史料 I ~ IV とその解説文を読んで、下記の設問 (A ~ J) に答えよ。解答はもつとも適当なものを 1 つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。なお、史料は一部、書き改めたところがある。

(史料 I) イ 古墳出土鉄劍銘

其の児、名は乎獲居臣、世々杖刀人の首として、事へ奉り來り今に至る。獲加多支歎大王の寺、斯鬼宮に在る時、吾  
口 を左け治む。此の百練の利刀を作らしめ、吾が事へ奉る根原を記すなり。

(史料 II) ハ 古墳出土鉄刀銘

口 治しし獲加多支歎大王の世、典曹人として事え奉る、名は无利豆。(中略) 此の刀を服するものは長寿にして、  
(中略) 其の統ぶる所を失はず。

(史料 III) 「東大寺献物帳」黒作懸佩刀

日並皇子、常に佩持するところ、太政大臣に賜ふ。大行天皇即位の時、便ち大行天皇に献ず。崩する時、亦大臣に賜ふ。大臣薨する日、更に後太上天皇に献ず。

(史料 IV) 『二』承和十年(843)七月庚戌(23日)条

桓武天皇、延暦七年の春、緒嗣を殿上に喚び、加冠せしむ。(中略) 即ち正六位上を授く。内舎人に補し、剣を賜ふ。  
亦勅して曰く、是れ、汝の父の獻するところの剣なり。汝の父の壽詞、今に忘れず。ひとたび想像する毎に、覚えず涙下る。今以て汝に賜ふ。宜しく失ふなけれ。

刀剣は人を殺傷する武具であるとともに、悪霊や邪気を追い払う力を持つとされる聖具でもあった。そのため刀剣には、単なる武器以上の象徴的な意味が付与されてきた。

史料 I・史料 II は、それぞれ 5 世紀の古墳から出土した刀剣の銘文であり、日本列島で漢字が使用されたもっとも古い時期の事例として著名である。ワカタケル大王に「杖刀人」や「典曹人」として仕えた地方豪族がその事蹟を記したもので、この時期に大王権力が東国から九州まで及んでいたことを象徴している。

史料 III は、東大寺に納められた聖武天皇の宝物のなかにみえる黒作懸佩刀の伝世の由来を記したものである。「日並皇子」は、リ 皇子、「太政大臣」・「大臣」は藤原不比等を指す。「大行天皇」は文武天皇のことであるが、文武天皇は慶雲四年(707)に 25 歳の若さで亡くなる。文武天皇の嫡子である首皇子がその時にまだ 7 歳であったため、文武天皇の母であり、リ 皇子の妃でもあった阿閆皇太妃が即位して元明天皇となった。さらに靈龜元年(715)に元明天皇は娘の永高内親王に譲位して元正天皇が即位した。不比等が死去したのは養老四年(720)のことであるが、その時にこの刀は「後太上天皇」、すなわち首皇子に献上された。そしてその 4 年後に元正天皇は譲位し、首皇子が聖武天皇として即位した。この時、首皇子は 24 歳になっていた。これまでの間に黒作懸佩刀は、リ 皇子 → 不比等 → 文武天皇 → 不比等 → 首皇子と伝えられており、天皇家と藤原氏との関係を象徴的に物語っている。

史料 IV は、正史における藤原緒嗣の死亡記事であるが、この中で桓武天皇は緒嗣に対して、緒嗣の父から献上された剣を与えている。桓武天皇は緒嗣の父に対して大きな恩義を感じていたといわれている。

問 A 空欄イ・ハに入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. イ=竹原 ハ=岩戸山 2. イ=竹原 ハ=江田船山 3. イ=稻荷山 ハ=江田船山  
4. イ=江田船山 ハ=稻荷山 5. イ=岩戸山 ハ=竹原

問 B 空欄口に入る語として、正しいものはどれか。

1. 朝廷 2. 陛下 3. 中華 4. 天皇 5. 天下

問C 空欄二に入る歴史書として、正しいものはどれか。

1. 日本書紀 2. 続日本紀 3. 続日本後紀 4. 日本三代実録 5. 古事記

問D 下線部ホの在位中の出来事として、誤っているものはどれか。

1. 勘解由使の設置 2. 長岡京への遷都 3. 胆沢城の設置 4. 徳政相論 5. 弘仁格式の編纂

問E 下線部ヘに該当する人物として、正しいものはどれか。

1. 藤原百川 2. 藤原房前 3. 藤原冬嗣 4. 恒貞親王 5. 藤原種継

問F 下線部トの状況について、倭国の立場から説明している史料として、正しいものはどれか。

1. 百残・新羅は旧是れ属民なり。由来朝貢す。而るに倭、辛卯の年よりこのかた、海を渡りて百残を破り（中略）、以て臣民と為す。  
2. 昔より祖禰躬ら甲冑を擐き、山川を跋渉して、寧処に遑あらず。東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を服すこと六十六国。  
3. 勅を奉るに、今諸国の兵士、辺要の地を除くの外、皆停廐に従へ。其れ兵庫、鈴藏及び国府等の類、宜しく健兒を差し、以て守衛に充つべし。宜しく郡司の子弟を簡び差し、番を作りて守らしむべし。  
4. 倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。  
5. 倭の女王、大夫難升米等を遣はし、郡に詣り、天子に詣りて朝獻せむことを求む。

問G 下線部チに関する文として、正しいものはどれか。

1. 百濟大寺を移転したものである。  
2. 藤原武智麻呂ら四兄弟が政権を担っていた時期に造営された。  
3. かつてこの寺の倉庫であった正倉院宝庫は掘立柱建物である。  
4. 法華堂では不空羈索觀音像が伝えられてきた。  
5. 西大寺と同様に平城京内におかれた。

問H 空欄リに入る人物として、正しいものはどれか。

1. 高市 2. 草壁 3. 有間 4. 大津 5. 大海人

問I 下線部又に関する文として、誤っているものはどれか。

1. 藤原広嗣は玄昉と結んで反乱を起こし、鎮圧された。  
2. 聖武天皇の母は藤原宮子である。  
3. 光明子は皇族以外で初めて皇后となった。  
4. 平城太上天皇の変に際して藤原仲成は滅ぼされた。  
5. 宇多天皇は藤原氏を外戚としなかった。

問J 史料I～IVに関する文として、誤っているものはどれか。

1. 史料Iと史料IIの大王は、『日本書紀』にみえる雄略天皇と同一人物であるとされる。  
2. 史料Iと史料IIでは、地方豪族は大王に仕えたことを子孫に伝えるために刀剣を作り、銘を刻んだ。  
3. 史料IIIにおける刀剣の伝世は、藤原氏が天皇家における皇位継承を支えてきたことを象徴している。  
4. 史料IVで桓武天皇が緒嗣の父に感謝しているのは、高野新笠を母にもつ他戸親王を廢太子にして桓武が即位することを助けたからである。  
5. 史料IVにおける刀剣の賜与は、桓武天皇が緒嗣を厚遇したことを象徴している。

2 次の史料Ⅰ～Ⅲを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。なお、史料Ⅰ～Ⅲは古い順に並んでいる。

(史料Ⅰ)

廿五日、晴、昨日の儀粗聞く、一献両三獻、猿樂初時分、内方どゝめく、何事ぞとお尋ねあるに、雷鳴かなど三条申さるのところ、御後の障子引きあけて、武士数輩出て、則ち公方を討ち申す、……細川下野守・大内等は腰刀ばかりにて振る舞うといえども、敵を取るに及ばず、手負いて引き退く、管領・細河讚州・一色五郎……等ハ逃走す、その外の人々は右往左往して逃散す、御前において腹切る人無し、□イ 落ち行き、追い懸けて討つ人無し、……、諸大名同心か、その意を得ざる事なり、所詮、赤松討たるべき御企て露見の間、遮って討ち申すと云々、自業自得果、無力の事が、將軍かくのごとき犬死に、古来その例を聞かざる事なり、□

(『看聞日記』)

(史料Ⅱ)

近日、四辺の□ハ 蜂起す、……御徳政と称して、借物を破り、少分をもって押して質物を請く、こと江州より起こそ、……坂本・三井寺辺、鳥羽・竹田・伏見・嵯峨・仁和寺・賀茂辺、物忿にして常篇を絶す、今日法性寺の辺にこの事ありて火災に及ぶ、侍所多勢をもって防戦するもなお承引せず、□ハ 数万の間、防ぎ得ずと云々、賀茂の辺か、今夜時の声を揚ぐ、……今□ハ 等、代始めにこの沙汰は先例と称すと云々、言語道断の事なり、

(『建内記』)

(史料Ⅲ)

(□ホ 十七年十二月十一日) 一、今日山城国人集会す、上は六十歳、下は十五六歳と云々、同じく一国中の土民等群集す、今度両陣の時宜を申し定めんがための故と云々、然るべきか、ただしました下極(惣)上の至りなり、両陣の返事問答の様如何、いまだ聞かず、

(同十七日) ……両陣の武家衆各引き退きおわんぬ、山城一国中の国人等申し合わす故なり、自今以後においては両畠山方は國中に入るべからず、本所領共は各本のごとくたるべし、新関等一切これを立つべからずと云々、珍重の事なり、

(□ホ 十八年二月) 十三日、一、今日山城国人、平等院に会合す、國中の掟法なおもってこれを定むべしと云々、およそ神妙、ただし興成せしめば天下のため然るべからざる事か、

(『大乗院寺社雜事記』)

問A 史料Ⅰの事件より以前に起きた出来事a～cを古い順に並べたとき、正しいものはどれか。

a 永享の乱 b 上杉禅秀の乱 c 結城合戦

1. a→b→c 2. a→c→b 3. b→a→c 4. b→c→a 5. c→a→b

問B 空欄イに入る語はどれか。

1. 赤松 2. 大内 3. 管領 4. 公方 5. 将軍

問C 下線部□に關連し、史料Ⅰの事件より後に、政変で殺害された將軍はどれか。

1. 足利義政 2. 足利義尚 3. 足利義稙 4. 足利義輝 5. 足利義昭

問D 史料Iについて述べた文として、正しいものはどれか。

1. 公方が討たれたので、將軍が敵を取ろうとして逆に討たれた。
2. 大内は襲撃に対して抵抗した。
3. 三条は雷鳴だと偽って油断させ、公方を討ち取った。
4. 諸大名が赤松を討ち取ったと噂された。
5. 管領は、自分の前で切腹する者がいないと嘆いた。

問E 空欄ハに入る語はどれか。

1. 国人
2. 侍
3. 土民
4. 馬借
5. 百姓

問F 下線部ニは室町幕府が設置した機関だが、これに関して述べた次の文X・Y・Zの正誤の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- X 役割がやがて検非違使に取って代わられた。  
Y 京都内外の警備にあたった。  
Z 長官は、赤松・一色・山名・今川の4氏から選ばれるのが慣例だった。

1. X-正 Y-正 Z-誤
2. X-正 Y-誤 Z-正
3. X-正 Y-誤 Z-誤
4. X-誤 Y-誤 Z-正
5. X-誤 Y-正 Z-誤

問G 史料IIに関連して述べた文のうち正しいものはどれか。

1. この状況で、少額で質物を預けることが横行した。
2. この状況を記しているのが、柳生の徳政碑文である。
3. この状況は京都の西の国で起こり、やがて京都に波及した。
4. この状況は、將軍の代替わりを契機として起こったとみられる。
5. この状況は言語道断なので、徳政令は出されなかった。

問H 空欄ホに入る語はどれか。

1. 応仁
2. 享徳
3. 寛正
4. 永享
5. 文明

問I 下線部ヘが抗争を続けてきた間の出来事について説明した次の文a～dのうち、正しいものが2つあるが、その組み合わせはどれか。

- a 斯波氏では家督争いが起きていた。 b 応仁の乱で東軍と西軍が和睦した。  
c 日野富子が足利政知を將軍後継者に推した。 d 足利義政が足利義尚を養子とした。  
1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問J 史料IIIにみられる事柄について述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 15、6歳から60歳の山城国人が集まつた。
2. 山城国人は、両畠山氏の軍勢を山城国外に退去させた。
3. 荘園は山城国人たちの所領になった。
4. 新しい関所の設置は認められることとなつた。
5. 山城国人は、みずからが国中の掟を定めることとした。

- 3 次の文章とそれに関連する史料を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

北海道の命名者は、アイヌの人々に寄り添った探検家として知られる松浦武四郎（1818－1888）である。1869年、武四郎から提案された複数の名称をもとに、明治政府が北海道に決定した。<sup>イ</sup>

伊勢国で郷士の家に生まれた武四郎は1833年より諸国を巡って様々な人と出会った。<sup>長崎で蘭学者に接触したこと</sup>を機に、<sup>ロシアが蝦夷地に接近していることを</sup>知り、北方に関心を持つようになる。1845年から1858年までの間に、個人の立場で3回、幕府役人の立場で3回、蝦夷地を訪問し、その記録を多数残した。武四郎は、<sup>二</sup>家の治世やアイヌに対する和人の態度を厳しく批判するとともに、蝦夷地各地のアイヌを多数紹介し、<sup>その態度を賞賛している。</sup>史料1は、その著作『近世蝦夷人物誌』の一部である。

一方、沖縄県が誕生したのは1879年のことである。沖縄島の人々の自称である「ウチナー」を語源とする沖縄という名称は、琉球とともに古くからこの地域の名称として使用例がある。<sup>15世紀に成立した統一王国が琉球と呼ばれ、長い間、中国との関係が深かったこと</sup>から、明治政府は琉球の名称を避けて、この地域を沖縄県とした。

沖縄と本土との間にある溝を埋めようとした代表的沖縄県人が、伊波普猷（1876－1947）である。1910年に沖縄県立図書館に勤務するようになった普猷は翌年、沖縄学の代表作となる『古琉球』を刊行する。史料2はその一部である。普猷は本土とは異なる沖縄の「ユニークネス」の重要性を指摘した。その上で、18世紀の琉球王国の政治家である蔡温が起草し、琉球王府が1732年に発した「御教条」という文書について、普猷は『沖縄歴史物語』のなかで史料3のように評価し、江戸時代の<sup>チ</sup>家の治世を批判した。その「御教条」の第1条が史料4である。

松浦武四郎は19世紀中期、和人の幕府役人の立場からアイヌの人々を、伊波普猷は19世紀末から20世紀前期の沖縄の立場から沖縄の人々をそれぞれ見つめていた。史料の解説とは、その作成者の立場性をふまえて解釈し、その意味を考えることである。

#### (史料1)

奸商の手に帰してより漁業の盛んにまかせて昼夜の別なく苛責<sup>(注1)</sup>して、(中略) その乱妨あえて筆紙のおよぶところにあらず、(中略) (ここに) 一人の土人<sup>(注2)</sup>あり、すこぶる勇あり、(中略) わが親までは肉食皮服の徒なるにわれなんぞあえて綿衣穀食を欲せん(とこの者が言う)、(中略) 奸商跋扈<sup>ばっこ</sup>して万民を失いし内に、唯一箇の義胆を立居ること、實に皇國の威稜<sup>(注3)</sup>魂なるかと、また長大息の中にいささか頗もしく気にぞ覚ゆる

(注1) 苛責：責めさいなむ。 (注2) 土人：その土地の人。 (注3) 威稜：稜威。天子の威光。

#### (史料2)

琉球民族という迷児は(中略)、(東アジアにおいて) ピープルとして存在しないでネーションとして共生したのでござります。彼らは首里を中心として政治的生活を営みました。<sup>リ</sup>『万葉集』に比較すべき『おもろそうし』を遺しました。マラッカ海峡の辺まで出かけました。(中略) 彼らは実に物質的に、はた精神的に国家社会を形成すべき能量<sup>(注4)</sup>を有していたのでございます。

(注4) 能量：活力、エネルギー。

#### (史料3)

(「御教条」は) 沖縄の孤島苦を道破<sup>(注5)</sup>した言葉であって、沖縄人の活動は<sup>チ</sup>氏の監視の下で、非常に制限されたもの——自らはどうしても脱することのできない性質のもの——であることを暗示したものである。かつてはつらつたる元気を有して、四方に發展した島民をして身動きもできない小天地で、その生活を実現せしめようと、努力した政治家の苦心は、一通りではなかった。(中略) 著者<sup>(注6)</sup>は琉球处分は一種の奴隸解放だと思っている。

(注5) 道破：言い尽くすこと。 (注6) 著者：ここでは伊波普猷のこと。

(史料4)

御当国の儀、(中略)小国のことにてなにへん不自由まかりあり候ところ、(中略)御国元<sup>(注7)</sup>の御下知にあいしたがい候以後、國中万事思し召しのとおりあい達し、御政法風俗までようよう引き改め、いまもって上下万民安堵つかまつり、めでたき御世にまかりなり候儀、まことにもって御国元の御厚恩をこうむり、くだんのしあわせ冥加至極の御事に候  
(注7) 御国元：ここでは琉球を統治する大名のこと。

問A 下線部イに関連して、明治維新以前における地方の政治や仕組みについての説明で、正しいものはどれか。

1. 律令制における五畿七道には北海道の地域も含まれる。
2. 大宝令施行以前から国・郡・里の区分が存在した。
3. 鎌倉時代において、守護は国単位、地頭は郡単位で任命された。
4. 江戸時代の村は村請制のもと、領主から派遣された役人を加えた寄合によって運営された。
5. 江戸時代の百姓一揆はしばしば、領主の支配地域をまたいで起きた。

問B 下線部口に関連して、蘭学に関する次の出来事X・Y・Zを年代順に正しく配列したものはどれか。

- X 蘭学者の間で初めてオランダ正月が実施された。  
Y シーボルト事件が起こった。  
Z 志筑忠雄がケンペルの著書『日本誌』の一部を訳出した。

1. X→Y→Z
2. X→Z→Y
3. Y→X→Z
4. Y→Z→X
5. Z→X→Y

問C 下線部ハに関連して、東北地方や北方情勢に関する動向について、松浦武四郎が諸国を巡るようになったときより後の出来事はどれか。

1. 海防論を主張した林子平が処罰された。
2. 高田屋嘉兵衛が、日本とロシアとの間の緊張状態を解消するのに尽力した。
3. 菅江真澄が、東北地方の深刻な飢饉の様子を記録した。
4. プチャーチンを代表とするロシア使節は、日本とロシアとの国境の画定を要求した。
5. 上杉治憲が、商品作物の栽培を奨励するなど、藩政改革を進めた。

問D 空欄ニと空欄チに該当する大名の説明として、正しい組み合わせはどれか。

- I 室町時代では、幕府の管領をつとめた。  
II 室町時代では、地方豪族である館主であった。  
III 室町時代では、複数国の守護をつとめた。
1. ニ-I チ-II
  2. ニ-I チ-III
  3. ニ-II チ-I
  4. ニ-II チ-III
  5. ニ-III チ-I
  6. ニ-III チ-II

問E 史料1で紹介している人物について、松浦武四郎はこの者のどのような態度を下線部ホのように評価しているのか。それを示している箇所を波線部a～eのうちから選べ。

1. a
2. b
3. c
4. d
5. e

問F 下線部ヘに関連して、1609年から1879年までの間、琉球の対外関係についての説明で、正しいものはどれか。

1. 琉球は明に対して進貢船を送ったが、清には送らなかった。
2. 幕府の將軍代替わりには、幕府からそれを通知する使節が琉球に派遣された。
3. 琉球は国王代替わりにあたって、中国の皇帝と日本の將軍から、二重に冊封使を迎えた。
4. 琉球から江戸に派遣された琉球使節は、異国から將軍に挨拶にやってくるという具合に演出された。
5. 琉球を統治する大名は、幕府の規定通りに琉球を介して中国貿易を行った。

問G 下線部トに関連して、琉球王国以来、沖縄が継承している食文化の食材には、蝦夷地の産物もある。それを蝦夷地から運送した手段はどれか。

1. 菱垣廻船 2. 樽廻船 3. 尾州廻船 4. 東廻り海運 5. 北前船

問H 下線部リに関連して、江戸時代の古典研究に関する作品とその著者の組み合わせで正しいものはどれか。

1. 契沖 -『万葉代匠記』 2. 戸田茂睡 -『源氏物語湖月抄』 3. 本居宣長 -『万葉考』  
4. 賀茂真淵 -『古事記伝』 5. 荷田春満 -『古史通』

問I 史料2と史料3の内容から伊波普猷の考えを読み取れることについて、誤っているものはどれか。

1. 普猷は、蔡温の「御教条」を、琉球の人々にとって今後も大切にするべき文書であると認識していることがわかる。  
2. 普猷は、琉球の人々が文化的に高い力量を持っていたと認識していることがわかる。  
3. 普猷は、琉球の人々が長い間、国家を形成してきたことを賞賛していることがわかる。  
4. 普猷は、蔡温が「御教条」のなかで表明していることは、苦心の末に発せられたものだったと認識していることがわかる。  
5. 普猷は、『おもろそうし』を高く評価していることがわかる。

問J 史料4の2通りの解釈X・Yと、それが意味することI～IIIとの組み合わせで、もっとも適当なものはどれか。

X 琉球の人々は一大名に統治され、自由がない。 Y 琉球を統治する大名のおかげで今日の琉球がある。

I 琉球を統治する大名は、今後も琉球の人々が安心して生活できるよう、責任を負わされた。

II 琉球処分は琉球の人々にとって、奴隸解放という性格のものであった。

III 琉球処分は琉球の人々にとって、琉球を日本国外と同じ扱いへと追いやるものであった。

1. X - I Y - II 2. X - I Y - III 3. X - II Y - I  
4. X - II Y - III 5. X - III Y - I 6. X - III Y - II

- 4 次の史料を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。史料はそれぞれ政治家の死去にあたってその政治家について述べられたものである。なお、史料はわかりやすくするために省略や変更を加えた部分がある。

(史料1)

彼は政治の方面に於ては、□イ□、□ロ□と抗衡した。財政、経済の方面に於ては、井上、松方と抗衡した。外交に於ては、陸奥と抗衡した。政党者としては、板垣と抗衡した。教育文化の方面に於ては、□ハ□と抗衡した。彼の功勳は、各部に於て、必らずしも対手の上に出でたとは云われまい。□イ□の憲法制定、□ロ□の地方自治、<sup>a</sup>松方の紙幣消却、金貨本位、<sup>b</sup>陸奥の条約改正、□ハ□の西洋事情等の如き、其の各部に於ける成績を以て比較すれば、彼の強情なるも、恐らくは自から之に及ばぬと自状するであろう。

然も彼等は概して専門家だ。彼は之に反して何んでも屋だ。彼は各人の各部に於ける各成績を、一人にて悉くそれ程に挙げ得ざりしとするも、各人の各部に於ける各成績の総てを合したる、或る物を有し、而して其の以外に、尚お彼等の成し得ざる、或る物を、成し得たるものがあった。<sup>c</sup>彼は明治、大正の時代に於ける、一種の総合商店であった。云わば彼は政治、外交、経済、教育、宗教、科学あらゆる方面に於ける、『□ニ□』であった。（『国民新聞』1922年1月11日）

(史料2)

九段坂の上に銅像となっている□ホ□は、山県公などよりも先輩の長州人であるが、深くこの少年公卿に着目しておった。□ホ□は会津が落城して天下一統の治となって後、間もなく新装したる足利尊氏が九州より起るであろうことを観測して、これに対する準備を怠らなかった。初め大阪に造兵廠を置いたのも、西南控制の策からであった。彼は万一の事あらば、一人の公卿を戴いて急変に処せねばならぬことがあるであろうと想像し心中私かに□ヘ□公をもってこれに擬しておったのであった。然るに□ホ□は明治二年、京都において刺客に襲われて死し、公は翌年フランスに去って<sup>d</sup>明治十年の西南反乱を遙かに外国から見たのである。

公はフランスにあること十年、明治十三年に帰朝したがこの時三十三歳であつて、間もなく□ト□や、松田正久などと共に東洋自由新聞なるものを発行して、その社長となり且つ社説を書き出した。今日において貴族が政党や新聞に關係するは、家飯常時であるが、當時にあって政党は政府より見れば叛軍に近いものであった。然るに平安朝以来の名家の子が新聞記者となりて自由主義を宣伝せんとするので、太政大臣三条実美、右大臣岩倉具視等の狼狽一通でなく、公にこの団体を脱退することを勧告したが、公は笑って相手にせぬ。そこで最後に勅命が下ったので公も遂に右の関係を絶たねばならぬようになった。（『東京日日新聞』1940年11月26日）

問A 史料1で述べられている人物と、史料2で述べられている人物がそれぞれ率いていた政党名の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

1. (史料1) 進歩党 (史料2) 立憲帝政党
2. (史料1) 進歩党 (史料2) 国民協会
3. (史料1) 憲政本党 (史料2) 立憲政友会
4. (史料1) 憲政本党 (史料2) 憲政党
5. (史料1) 憲政会 (史料2) 立憲政友会

問B 史料1が掲載された新聞の主筆を務めていた人物として、正しいものを1つマークせよ。

1. 福沢諭吉
2. 福地源一郎
3. 德富蘇峰
4. 陸鞠南
5. 矢野龍溪

問C 空欄イと□に当たる人物の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

1. イ：伊藤博文 □：木戸孝允
2. イ：伊藤博文 □：山県有朋
3. イ：明治天皇 □：木戸孝允
4. イ：明治天皇 □：山県有朋
5. イ：井上毅 □：山県有朋

問D 空欄ハに当たる人物が著した書名として、正しいものを1つマークせよ。

1. 『ベルツの日記』
2. 『自由之理』
3. 『隣草』
4. 『日本開化小史』
5. 『文明論之概略』

問E 下線部aに関連する文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 松方正義は薩摩藩の出身である。
2. 松方正義の財政政策によって物価が騰貴し庶民は困窮に陥った。
3. 松方正義によってとられた財政政策が自由民権運動停滞の一因となった。
4. 松方正義の財政政策によって蓄積した正貨によって日本政府は金本位制を確立した。
5. 松方正義の建議に基づき、日本銀行が設立された。

問F 下線部bに関する文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 条約改正の実現のために欧化主義政策を採用して批判を浴びた。
2. 大審院での外国人判事任用案が新聞に漏洩し世論の攻撃を受けた。
3. 大津事件の発生で頓挫しかけたが政府が陳謝することで切り抜けた。
4. 駐英公使青木周蔵がロンドンで調印したのを皮切りに、他の欧米諸国とも調印した。
5. この改正により關税自主権の完全回復を成し遂げた。

問G 空欄二には、下線部cの代表的存在が入る。当たるものとして正しいものを1つマークせよ。

1. 三井物産
2. ダイエー
3. 三菱商事
4. 鈴木商店
5. 三越

問H 空欄ホには、適塾出身で明治新政府において最初期に近代軍隊創設を構想した人物の名前が入る。当たる人物はだれか。正しいものを1つマークせよ。

1. 西郷隆盛
2. 寺島宗則
3. 大村益次郎
4. 山本権兵衛
5. 前原一誠

問I 下線部dについて述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 最大の士族反乱であったこの戦争を最後に、士族反乱はおさまった。
2. 政府軍は徵兵令による農民を含む軍隊でこの反乱を鎮圧した。
3. 政府軍は創設当初で近代化が追いつかず、近代的な装備と訓練を受けていなかった。
4. この戦争は私学校生ら鹿児島士族を中心とした反乱であった。
5. 戦争の遂行のために政府は大量の国立銀行券（兌換紙幣）を発行し、政府財政は窮迫した。

問J 空欄トに入る人物が主宰していた学校の名称として、正しいものを1つマークせよ。

1. 慶應義塾
2. 同志社
3. 仏学塾
4. 札幌農学校
5. 工部大学校

5

次の文章をI・IIを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

I

産業革命期後半（1900～1910年頃）の沈滞した景気に日本経済は破綻寸前に追い込まれていた。この日本の危機的情状イ<sup>ク</sup>況を開拓するきっかけになったのが第一次世界大戦であった。大戦により戦場となったヨーロッパ諸国が世界貿易から撤退すると、日本の対米・対アジア輸出が増大し、またヨーロッパからの輸入減は輸入依存度の高かった重化学工業の定着を促した。国際収支の好転の結果、金本位制離脱の危機にあった正貨残高も大幅に増加し、日本は債務国から債権国に転換した。

好調な企業収益の中で株価・物価も上昇したが、物価上昇に賃金が追いつかない労働者家計は圧迫された。<sup>ハ</sup>米騒動はこうした社会的な立場の格差も反映していた。

大戦後の1919年に日本は復興ブームによる好景気に沸いたが、翌20年には深刻な不況に陥り、長期の低迷期を迎えた。基本的には欧州諸国の市場復帰による競争条件の悪化に要因があったが、日銀は危機のたびに民間銀行を通じて低生産性企業に救済融資したため、かえって大企業を含む不良企業群を温存することとなった。こうして1920年代に不良債権を累積した民間銀行は、次第に預金者の信頼を失っていった。

問A 下線部イに関連して、産業革命期後半の日本経済について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 紡績業は発展したが、原料を輸入に依存していたため、入超産業であった。
2. 連年の貿易赤字に加えて、日露戦費などの外債利払いが国際収支の危機を招いていた。
3. 鉄鋼業では八幡製鉄所が操業を開始したが、生産が軌道に乗るのは日露戦争頃であった。
4. 持株会社の三井合名会社は、傘下各社の意志決定に関与しなかった。
5. 八幡製鉄所は政府借款の見返りに、大治鉄山の安価な鉄鉱石を利用した。

問B 下線部口に関連して、第一次世界大戦期の日本経済について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. ヨーロッパに代わってアジア市場向けの綿製品輸出が増加した。
2. 都市近郊における商業的農業が発展し、農業生産額は工業を上回り続けた。
3. 船舶不足による運賃高騰で日本海運業は高収益を挙げ、国際収支の改善に貢献した。
4. 男性労働者を中心に工業人口が増えたが、農業人口には及ばなかった。
5. 水力発電と長距離送電網の発展によって、工業原動力の電化が進んだ。

問C 下線部ハの米騒動に関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. シベリア出兵により米の買い占めが横行し、都市部を中心に米価が騰貴した。
2. 第一次世界大戦期に人口の都市集中が進み、米消費増大による米価高騰に庶民は苦しんだ。
3. 富山の主婦たちの騒動をきっかけに、米商人・富豪などが襲撃された。
4. 東京・大阪をはじめ、全国各地で約70万人が騒動に巻き込まれた。
5. 騒動は軍隊により解決されたが、寺内内閣は責任を取ってシベリアから撤退した。

問D 下線部ニに関連して、長期の景気低迷に苦しんだ1920年代の日本について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 貿易収支の赤字が続き、正貨減少も進んでいった。
2. 円為替相場は、金本位制を離脱していたため、安定していなかった。
3. 片岡大蔵大臣の失言をきっかけに、銀行の取り付け騒ぎが発生した。
4. 未決済の震災手形を大量に抱えた台湾銀行に、救済融資の緊急勅令が出された。
5. 國際的に割高な物価のために、貿易収支は入超が続いた。

問E 金輸出解禁について述べた次の文の、 **a** , **b** , **c** にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

金解禁を断行したのは立憲民政党の浜口雄幸内閣、井上準之助蔵相であった。浜口内閣は、**a** での解禁を目指したので、円高でも輸出可能となるように財政・金融政策で通貨量を**b** て、物価を引き下げた。低物価で輸出を伸ばすには、合理化など企業努力による**c** の引き下げが必要となる。浜口内閣では合理化に伴う失業対策も用意していた。

1. a - 新平価 b - 抑制し c - コスト
2. a - 旧平価 b - 膨張させ c - 生産性
3. a - 新平価 b - 膨張させ c - コスト
4. a - 旧平価 b - 抑制し c - コスト
5. a - 旧平価 b - 抑制し c - 生産性

## II

工業化初期の工場労働者は、繊維産業の工女や女工と呼ばれた女性が中心で、小作農などの苦しい家計を助けるため、低賃金で長時間の厳しい出稼ぎ労働に従事していた。製糸業では15~18時間の長時間労働が、**ホ** 業では2交替制の昼夜業が行われていた。

日清戦争後の産業革命期になると、待遇改善を求めるストライキもようやく始まり、1897年には、高野房太郎・片山潜らが**ヘ** 会を結成し、日本最初の本格的な組合である**ト** 組合を組織するなど、労働運動の発展に貢献した。

政府はこうした動きを**チ** 法で規制したが、他方で1911年に資本家の反対にあいつつも、労資対立の緩和と宥和を目指す工場法を成立させた。日本初の労働者保護立法であったが、適用工場が**リ** 人以上に限られ、期限付きで**ホ** 業に深夜業を認めるなど、保護立法としては全く不十分な内容であった。

問F 空欄**ホ**に該当する産業名を、漢字2字で記せ。

問G 空欄**ヘ**に該当する語句を、漢字6字で記せ。

問H 空欄**ト**に該当する語句を、漢字2字で記せ。

問I 空欄**チ**に該当する語句を、漢字4字で記せ。

問J 空欄**リ**に該当する数字を、算用数字で記せ。

**6** 次の文章を読んで、下記の設問（A～I）に答えよ。

イ 第二次世界大戦の終結によって、日本は連合国に占領されることになったが、その統治方法は、連合国軍最高司令官総司令部（G H Q）の指令・勧告に基づいて日本政府が政治を行う、間接統治であった。G H Qは1945年10月、治安維持法や **a** 警察の廃止、政治犯・思想犯の釈放を指令し（人権指令）、天皇に関する自由な議論を奨励した。幣原喜重郎が首相になると、マッカーサーは憲法の自由主義化のほか、**b** 五大改革を指示した。またG H Qは、政府による神社・神道などの支援を禁じ、軍国主義・天皇崇拜の基盤となった国家神道を解体した。

財閥が軍国主義の温床になっていたとみたG H Qは、1945年11月、はじめに三井、三菱、住友、**c** の4大財閥の解体を命じた。1947年には、独占禁止法によって、持株会社やカルテル・トラストなどが禁止され、また、**d** 過度経済力集中排除法によって、巨大企業の分割が行われることになった。

低賃金構造による国内市場の狭さを解消し、対外侵略の基盤を除去するため、G H Qは、労働基本権の確立と労働組合の結成を支援した。はじめに労働組合法が制定され、労働三権（団結権・**e** 権・争議権）が保障され、その後、労働関係調整法、労働基準法が制定されるなど、**f** 労働政策の基盤が整備され、労働運動も活発化した。

G H Qは1948年、吉田茂内閣に対し、**g** 経済安定九原則の実行を指令した。翌年、これを実施させるため、銀行家のドッジが招請され、一連の施策を指示した（ドッジ＝ライン）。さらに、財政の専門家である **h** らのチームが来日して勧告を行い、大幅な税制改正がなされた。ドッジ＝ラインによってインフレは収束したが、その後、不況が深刻化したため、中小企業の倒産が相次ぎ、失業者が増加した。

問A 空欄**a**に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に4字で記せ。

問B 空欄**b**に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に2字で記せ。

問C 空欄**c**に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に4字で記せ。

問D 空欄**d**に該当する人名を、記述解答用紙の解答欄に4字で記せ。

問E 下線部イに関連して、終戦後の出来事として、最も時期の遅いものを1つマークせよ。

1. 公職追放によって、2年4ヶ月ほどで20万人以上が職を追われた。
2. サンフランシスコ講和会議が開催された。
3. 史上初の皇族内閣となる東久邇宮稔彦内閣が成立するが、2ヶ月ほどで総辞職した。
4. 東条英機らA級戦犯28名に対する極東国際軍事裁判が始まった。
5. G H Qは、新聞・出版などの検閲基準（プレス＝コード）を定めた。

問F 下線部口について、五大改革に該当しないものを1つ選べ。なければ6をマークせよ。

1. 経済機構の民主化
2. 参政権の付与による女性の解放
3. 秘密警察などの圧政的制度の撤廃
4. 労働組合の結成奨励
5. 民法改正と戸主制廃止

問G 下線部ハについて、過度経済力集中排除法が施行された後の経緯について、記述解答用紙の解答欄に30字以内で記せ。句読点も1字として数えよ。

問H 下線部ニに関する記述として、誤っているものを1つ選べ。なければ6をマークせよ。

1. 労働基準法によって、週48時間労働や女子・年少者の深夜労働の禁止などが規定された。
2. 労働省が設置され、外局として中央労働委員会が置かれた。
3. 労働関係調整法は、争議調整方法や争議行為の制限を規定した。
4. この時の労働組合法の制定は、日本国憲法の公布より早かった。
5. 労働組合の全国組織である、日本労働組合総同盟と全日本産業別労働組合会議が結成された。

問I 下線部ホについて、経済安定九原則の項目として、誤っているものを1つ選べ。なければ6をマークせよ。

1. 予算均衡
2. 徵税強化
3. 資金貸出制限
4. 農地改革
5. 物価統制

[以 下 余 白]

〈2025 R 07193316〉

受 験 番 号	万	千	百	十	一
					
氏 名					

(注意) • 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。  
 記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

- 受験番号・氏名は左右の両欄に記入すること。
- 解答はすべてH Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで所定の解答欄に記入すること。

# 日本史 記述解答用紙

〈2025 R 07193316〉

受験番号	万	千	百	十	一
					
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。  
記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

日本史

(この欄には解答を書かないこと)

採 点 欄

F	
G	
H	
I	
J	

5

1

1

A	
B	
C	
D	

6

A small, empty rectangular box with a black border, likely a placeholder for a figure or diagram.

2

G


3

1